

桜木中だより



桐生市立桜木中学校
令和2年8月27日発行
〈文責〉 岡田和久

R2-05号

第2学期スタート

「勉学に励み、充実した学期にしよう」

桐生市では8月11日に全国最高となる気温40.5度を記録するなど、8月は非常に暑い日々が続きました。新型コロナウイルスの影響で例年より12日短い夏休みでありましたが、生徒達は生活目標や行動計画を立てて、猛暑に負けないように3週間の夏休みを過ごしたと思います。大きな事故や事件がなく、みんなが無事に2学期を迎えられたことが一番嬉しいことです。

さて、2学期は授業日数が一番多い学期です。1学期の学習の遅れを取り戻す意味合いもありますので、これまで以上に授業に意欲的に参加して勉学に励むことを望んでいます。そして、各種行事や日常生活への積極的な取組も期待しています。

新型コロナウイルスにつきましては、まだまだ予断を許さない状況にありますので、今後も感染予防を意識した『新しい生活様式』を継続して、学校教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

ご家庭でも、「毎朝の検温と健康確認」「マスクの着用」「3密を避ける行動」「健康的な生活習慣（睡眠、食事）」の継続をよろしくお願いいたします。



学期初めの復習テストに真剣に取り組む3年生達「頑張れ、受験生」

新型コロナで・・・

5月26日発行の学校だより(R2-2号)でも掲載させていただきましたが、新型コロナウイルスの感染に伴って、今まさにこのような深刻な問題が発生しています。

一人一人が、「もし自分が当事者になってしまったら」という心情で、本気になって考えて欲しいことです。「感染してしまった人への差別」について考えていきたいと思えます。

ウイルスを「正しく恐れ、冷静に判断し、適切に行動する」ことの重要性が、今まさに私達が生きていく社会の中で、私達の身の回りで求められているのです。

○ 「この教室の中にコロナの人がいたら、最悪だよね。」

もし、このような発言が教室内で発せられたら、どうでしょうか。

こういう言葉が安易に発せられて、そのような考え方が広がってしまい、偏った雰囲気形成されてしまったら、その人間集団は非常に危険な状況に陥ってしまいます。きっと誰もが少しの体調不良も悟られてはいけないと、常に周りの目を恐れて平静を装うしかないのです。

(誰もが感染したいとは思っていないが、誰でも感染の可能性があるのです。)

⇒ 何気なく発せられる、このような言葉のもつ不適切な意味を具体的に考えさせていく中で、差別や偏見に流されない意識を育てていきたいと思えます。

※ もし感染してしまっても、その人が安心して過ごせるような配慮を心掛けましょう。

○ 保護者の皆様をお願いしたことは、「(私達)大人が過剰に反応してしまい、それが子供達に伝わって偏見や差別が生み出してしまうことがある」と認識して欲しいのです。

⇒ 新型コロナウイルスについては「正しく恐れる」必要がありますが、過剰に恐れったり、不確かな情報に振り回されたりすることで、「冷静な判断」ができなくなり、見当ちがいな攻撃(差別・偏見)に出してしまうのです。

感染症の3つの顔 「ウイルスの次にやってくるもの」(日本赤十字社から)

日本赤十字社がYouTubeに掲載した動画の題名です。人から人へと広がっていく、ウイルスより恐ろしいものとは一体何でしょうか。

- ・ 感染症には3つの顔があると言われます。第1の感染症は「病気」そのものです。
- ・ 次に、新型感染症のように病原体が未知のウイルスでわからないことが多いと不安が生まれます。それが第2の感染症「不安や恐れ」です。
- ・ そして、人は生き延びようとする本能によりウイルス感染に関わる人を遠ざけます。これが第3の感染症「嫌悪・偏見・差別」です。そうすると差別を受けるのが怖くて熱やせきがあっても受診をためらい、結果としてさらなる病気の拡散を招いてしまうのです。

では、このような状況を作り出さないために私達はどう行動したらよいでしょうか。

- ◇「病気」を防ぐために … ①手洗い、②咳エチケット、③人混みを避ける等、行動様式を自分のためだけでなく、周りの人のためにもすることが大切です。
- ◇「不安や恐れ」で冷静さを失わないために … 悪い情報ばかり見すぎないこと、不確かな情報を鵜呑みにしないこと、話を大げさに捉えて怯えないこと、そのために①気づく力、②聴く力、③自分を支える力の3つを高めて、正しく理解し、適切に行動することが大切です。
- ◇「嫌悪・偏見・差別」で信頼関係や社会のつながりを壊さないために … 非難や差別の原因は「過剰な防衛本能」だと気づくことです。ウイルスという見えない敵への不安から、特定の見える対象を敵とみなして嫌悪の対象としてしまい、差別することで「つかの間の安心感」を得たがるのです。この思考の恐ろしさは、真実がすり替わってしまい、本当の敵が見えなくなってしまうことです。

☆ 今医療に従事している人など、この事態に対応しているすべての方々へ『ねぎらい』や『敬意』を払いましょうという取組が世界各地で行われています。

私達一人一人が、自分の立場でできることを実践し、みんなが一つになって、感染症による負の連鎖を断ち切っていきましょう。

皆様からのご支援に感謝申し上げます。有効活用させていただきます。

消毒用アルコール(10箱)

12区・18区 桐生保護区保護司会 様から

法務省前橋保護観察所・桐生保護区保護司会の亀田修副会長さんが会を代表して来校され、「消毒用のアルコール」を寄贈してくださいました。現在、新型コロナウイルスの感染防止対策を行う上でアルコールが欠かせません。

本校の衛生管理業務の要である須藤久美子養護教諭も「日常の消毒作業や定期検診等に多量の消毒用アルコールを使用せざるを得ない状況にあるので、本当に助かります。」と喜んでいました。



ラスカル(消毒済)も大喜び

大型サーキュレーター(4台)

桜木中学校PTA 様から

各学年の保護者を7月7～9日に体育館において開催させていただきました。当日出席された方から、体育館内は暑いので換気対策が必要だという声がPTA本部役員に寄せられたそうです。

そこで板場会長が中心となって本部役員で協議検討され、大型扇風機を寄贈してくださることになりました。

8月上旬に納品され、生徒達も大喜びです。ありがとうございました。



卓球場(体育館2階)